

教育会だより

平成30年10月号

教育会あり方検討委員会発行



更埴教育会ホームページアドレス <http://www.ckm.janis.or.jp/~koushokukyouiku/>

教育を語る会 開催

去る8月1日(水)更埴教育会の中心行事である「第44回 教育を語る会」が、テーマ「人から人へ そのつながりの中へ ～今 私が大切にしているもの・こと～」のもと、千曲市稲荷山の杏泉閣において、約210名もの参加者が集い、盛大に開催されました。

開講式 「互いに知り合い、

つながり合う1日に」

開講式では、久保田英雄教育会長のあいさつの中で、この「教育を語る会」の歴史のお話がありました。これからも、先輩の先生方が育んできた「教育を語る会」を通して、会員が互いに知り合い、つながり合うことで有意義な1日にしていきたい、との思いが語られました。



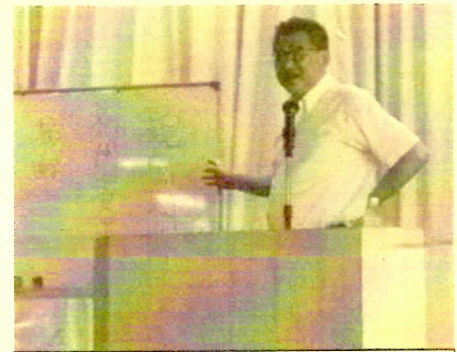
久保田会長のご挨拶

講演会 演題「戸倉上山田の歴史と文化について」

講師 若林 正樹 先生

本年度は、上山田ホテルの社長で戸倉上山田の歴史についても大変造詣の深い若林正樹先生をお迎えし、私たちの身近な地域である戸倉上山田について、先生の撮影された写真を基にご講演をいただきました。

江戸時代が終わり、近代交通が発展し、この戸倉上山田も以前の生活から方向転換しなければならなくなったこと、そして戸倉上山田の先人たちが温泉に注目し、観光業を興して発展させていったことなどを教えていただきました。



若林 正樹 先生

パネルディスカッション

パネリストの皆さんが、今までの

経験から、様々なつながりを熱く語る

昼食後に行われたパネルディスカッションでは、コーディネーターの宮澤宏さんを中心に、4名のパネリ



ストの皆さんから、今大切にしている人とのつながりを、キーワードと共に発表していただきました。

清水大輔さんは、学

級の子どもたちとのつながりを作る「かがやきノート」、柳沢健さんは、先生たち・子どもたち・保護者の方々・地域の方々がつながりあう学校は笑顔があふれるという思いから「笑学校」、田中純子さんは、一人ひとりの児童を大切にという気持ちを示す子どもの呼び方についての「〇〇さん」、



意見を語る参加者の皆さん



宮澤宏さん

熱く語るパネラーの皆さん

そして、郡PTA副会長の上原佑実子さんは、ご自身のお子さんのスポーツ少年団の経験から、「つなぐ 広がる」というキーワードを示してくださいました。それらを基に、宮澤宏コーディネーターがパネリストの皆さんのより深い経験談を引き出し、フロアの参加者の皆さんからも大いに共感された様子が見られました。

分散会

語りたいことを語り、つながりを作ろう

パネルディスカッションの後、休憩を挟み、10～12名ごと12の会場に別れて分散会が行われました。分散会開始前の休憩中、それぞれの会場では参加者全員にアイスクリームの差し入れがあり、和やかな雰囲気の中で雑談する参加者の様子がうかがえました。

その後、各分散会で自由な話し合いが行われました。学校や年代についても、分散されるように工夫されており、初めてお会いしてお話する先生が多かったと思われます。

メンバー全員で懇談している分散会や、小グループにして親密に懇談している分散会など、司会者の先生のご努力によって和やかなムードで懇談が



和やかにアイスをいただき雑談を。

行われておりました。

若い先生方の悩みに、自身の経験を熱く語る先生やアドバイスを語るベテランの先生。今自分が教えている子どもたちとのつながりや同僚の先生とのつながりを語る先生。さらにはご自身の信条を語られる先生など。また、先輩の先生方からは、豊富な経験からのお話など。そのような懇談を通して、久保田教育会長の開会のお話のように、普段はなかなか話す機会が持てない中、更埴教育会の先生方が互いに知り合い、つながり合う分散会であり、素晴らしい会であると感じられました。



笑顔があふれる分散会

終了後の懇親会は、先輩の先生方も参加してくださり、パネリストやコーディネーターも交え、例年通り大いに盛り上がりました。また、懇親会に先立って、先輩の金井太慶雄先生より、「教育を語る会」の具体的な歴史についてもうかがうことができました。

昨年度から日程が大きく変わりました。本年度も昨年度同様、開講時刻を遅くして開講式直後に行っていたパネルディスカッションを午後の始めに移動して行われました。2年続けての日程でしたが、参加者の皆さんはどのように感じられたでしょうか。

教育研究会の紹介 その2

【更埴国語教育研究会】

本年度は、更級小学校の浅井かよ子会長のもと、15校27名の先生方に参加いただいて活動をしています。

本年度は来年度の長野県国語教育学会の県大会である更埴大会を見据え、授業公開校である東小学校と屋代中学校の授業を参観させていただいたり、夏期研修会では本年度県大会開催地の木曾地区の発表や県夏期研修会の『『わらぐつの中の神様』の作品研究』について報告を基に学び合ったりしました。

今後、信州大学の先生方を講師にお招きして授業研究をしていく計画もあります。会員はもとより興味のある方々のご参加をお待ちしています



昨年度木曾大会の様子

【更埴算数数学教育研究会】

本年度は、会員数32名でスタートしました。夏と冬に研修会を行ったり、各校の算数・数学の公開授業に参加させていただいたりしながら、算数・数学の楽しさを学び合っています。

今年度は、特に小学校の先生方に大勢参加していただけるような研修会のありかたを模索し、夏季研修会では、小学校の算数の授業を中心に参加者の先生方が意見を交流しました。冬季研修会でも、ぜひたくさん先生方に参加していただければと思います。



昨年度の県大会（植生中）

【更埴音楽研究会】

音楽教育研究会では、5月の教育会総集会オープニングで「大地讃頌」「ふるさと」を80名の先生方で大合唱しました。ご参加ありがとうございました。4月には小学校器楽講習会を開き、早川潔先生より金管楽器の息の使い方等の基本奏法を学びました。6月と9月には、東京より蓮沼勇一先生と富澤裕先生をお招きし、歌声作り表現方法について小学校合唱部と中学校合唱部が共に学ぶ歌唱講習会を開きました。音楽指導の技能向上を目指し、子どもたちと一緒に学ぶ姿勢を大切に考えて活動しています。



〈合唱講習会 富澤裕先生 戸倉創造館 9月〉

【更埴書写書道研究会】

本年度の更埴書写書道研究会では、戸倉上山田中学校の高橋和美会長先生のもと、会員12名が集まり活動をしています。

主な活動は、夏季研修会の実施、長野県書写書道研究大会への参加、長野県児童生徒作品展更埴地区審査です。そのうち、本年度の夏季研修会では県教育委員会心の支援室生徒指導係教育主幹兼係長坂田和弥先生をお招きして、秋季書道展に向けて各自の書の技術を高めようと研修を行いました。指導者が実際に書くことによって、指導のポイントが学べて授業に生かせる研修ができました。



【更埴技術家庭科教育研究会】

本年度は、会員22名でスタートしました。当会の最も有意義な活動は、夏休みに行われる「夏季研修会」です。本年度は、坂城中学校を会場に、『ねずこん御膳』の調理実習を行いました。講師としてお迎えしたのは、第2給食センター栄養教諭の中野加代子先生です。

『ねずこん御膳』は、「ねずこんごはん」「坂城産野菜の味噌汁」「ねずこんハンバーグ」「ねずみ大根干しのごまマヨネーズあえ」「しっとりんご」の献立から成り立っています。研修は和やかに楽しく進み、協力して上手に作り上げることができました。

中野先生に用意していただいた「ねずこんごはん」と「しっとりんご」を加え、無事一食分のメニューが完成。クーラーの効いた涼しい会議室で、みんなでおいしくいただきました。来年度も楽しい研修を企画します。多くの先生方のご参加お待ちしております。



【更埴コンピュータ利用研究会】



意外と簡単!!

本年度の夏の研修では、2人の先生方に講師をお願いし、日頃ICTを使って取り組んできたこと、他の先生

方も取り組みそうなことの中から、参加者に体験してもらおうと企画しました。

研修会の中では、ジャストスマイル5の「地図スタジオ」を使い、低学年の「まちたんけん」で使う簡易地図の作成にチャレンジしてもらいました。この研修の中では、プリントスクリーン（スマホのスクショ）や、ペイントを使ったトリミングの仕方、Ctrlキーを押しながらマウスをコロコロすると、画面の表示が容易に大きくできる仕方等々、普段でも使えそうなちょっとした「技」を折り込みながら進めたので、とても好評でした。

また、上山田小の職員の声から導入されたミニタブレットの活用についてもお聞きしました。画像・動画撮影に機能を絞ったツールで、しかもデジカメを入れるより安価。他校の状況についても情報交換ができ、とても有意義な研修会となりました。



使いやすい!



【今後の掲載予定】

教育会だより3号（12月発行）

- ・社会科教育研究会
- ・理科教育研究会
- ・道徳教育研究会
- ・地歴民族研究会
- ・哲学研究会
- ・陶芸教材研究会
- ・特別支援教育研究会
- ・人権同和教育研究会